

鴨川市教育委員会 9 月定例会会議録

1 日 時 平成23年9月20日(火) 開会 午後3時00分
閉会 午後4時30分

2 場 所 天津小湊支所2階会議室

3 出席委員 (1) 佐久間秀子 (2) 佐々木久之 (3) 根本新太郎
(4) 村上 修平 (5) 長谷川孝夫

4 出席職員 (1) 福田 典白 (2) 滝口 悦夫 (3) 小倉 茂
(4) 黒野 雅典 (5) 原 一郎

5 委員報告

- ・佐々木委員から、市町村教育委員会連絡協議会教育委員研修会の全体会で行われたパネルディスカッションの内容は、教育委員会のあり方や教育委員の役割に関するものであったが、その中で職につけない若者の問題、小中連携の教育、幼保一元化に関連して子ども課の設置などの情報を聞くことができたこと、スポーツ、体力づくり、食育に関する分科会では、手づくりにこだわる給食、地産地消の推進、A献立とB献立のいずれかを選択できる給食システムなどの報告を聞き、本市で地元産の食材を使用した「さんが焼き」などが提供できるとよいと考えたこと、総合型地域スポーツクラブの話からは市民への周知が大切であると考えたこと、歯科医師から小中学校で口のけがを予防するためにマウスガードの使用を普及させたいとの話があったことなどについて、報告がなされた。
- ・村上委員から、市町村教育委員会連絡協議会教育委員研修会のパネルディスカッションでは天笠県教育委員会委員長がコーディネーターを努められ、幼保一元化、小中一貫教育等の話題も出されたが、本市はその点で先進的に取り組んでいると考えたこと、災害への対応に関する分科会では浦安市や旭市の被災地からの報告があり、低学年と高学年のペアでの避難、スクールメールの活用など本市でも参考にしたいと考えたこと、安房東中学校の体育祭は生徒数が少なく少し寂しさを感じたこと、小湊小は保護者の声援が多くにぎやかであったこと、大阪府教育基本条例や中学校社会科公民分野の教科書に関する八重山採択地区協議会の動向に教育委員として関心を持っていることなどについて、報告がなされた。
- ・根本委員から、安房東中学校の体育祭に関して、時間短縮など生徒数が少ない中での運営の工夫が必要であると考えたこと、市町村教育委員会連絡協議会教育委員研修会

のパネルディスカッションでは地域により教育委員の活動が異なってよいと考えたこと、学校問題解決に関する分科会では、保護者からの苦情に対し校長が顧問弁護士に相談できるシステムの構築や、弁護士、医師などで構成する学校問題支援チームによる学校への助言などの事例の紹介があったが、問題に対する初動体制の確立が大切であると考えたことなどについて、報告がなされた。

- ・佐久間委員から、市町村教育委員会連絡協議会教育委員研修会のパネルディスカッションではよい先生とのめぐり合いをさせたいとの話があったこと、教師の世代交代が始まっている中で、教員採用の方法も検討していく必要があるとの話があったこと、本市では教育委員の研修会を計画的に実施しているが、これを継続し教育委員の力量を高めていく必要があると考えたこと、災害への対応に関する分科会では、放映された映像から災害のすさまじさを感じたこと、今回の大震災での事実を集めて今後の対応に生かしてほしいとのご指導がコーディネーターからあったこと、さらに鴨川中学校の体育祭は生徒一人一人がよくがんばり迫力満点であったこと、長狭学園の運動会では保護者が多く応援に来てくれ、和やかな雰囲気の中で行われていたことについて、報告がなされた。

6 教育長報告

- ・長谷川教育長から、今回の市議会定例会では7人の一般質問のうち、2人から教育に関する質問をいただいたこと、鈴木美一議員からは鴨川中学校建設に関して、地元業者が契約額の3割以上を下請けできたかとの質問があり、コンクリートの柱や床、壁などの基本的な部分である躯体関係工事で6社、359,641,800円、その躯体に建物としての機能や装飾を施す木工、建具、屋根等の内外装及び設備関係工事で9社、219,101,850円、側溝、舗装等の外構関係工事で3社、124,320,000円、仮設通路や仮設給排水設備、クレーン作業等の経費で6社、36,810,975円、合計739,874,625円の契約が地元業者となされ、これは元請負額の約32%であると答弁したこと、佐藤拓郎議員からは、新鴨川中学校の開校後の状況に関する質問があり、生徒は学習や部活動などに生き生きと取り組み意欲的に学校生活を送っていること、江見地区からのバス通学に関しては当初課題もあったが、現在は順調に運行できていること、雨天時に学校正門前が生徒の迎えによる車で渋滞することがあったが、学校職員の交通整理や迎えの車の駐車方法等の改善により、現在は渋滞は解消されていること、その他民間施設を利用した水泳指導が効果をあげたこと、防犯灯を90箇所新設したが防犯には今後も十分留意していくこと、各月の使用電力の11%から18%を太陽光発電でまかなっているとの答弁をしたことについて、報告がなされた。
- ・さらに、教育委員会制度に関して、教育委員会不要論があるが、教育は継続が大切であ

ることなどから教育委員会制度を継続していく必要があること、この制度を充実していくためには教育委員の資質を高める必要があると考えること、教科書採択については専門調査員の調査をもとに、採択地区協議会委員が選定し、各教育委員会で教育委員が承認するシステムになっており、安房地区でもこの手続きにより採択が行われ、その中で中学校社会科の教科書がこれまでとは異なる教科書会社のものとなったこと、保護者等の苦情に対する対応は学校が行うことが基本であり、教育委員会や弁護士は相談があれば支援に努めることが望ましいと考えているが、本市では教育長就任後弁護士に相談した事例はないことなどについて、報告がなされた。

【報告に対する質疑】

- ・質疑なく、全員の了解が得られた。

7 議 事

提出議案なし

8 その他

- (1) 原スポーツ振興課長から、第61回千葉県県民体育大会ボクシング競技が10月15日、16日に本市文化体育館で開催されることについて、資料をもとに説明がなされた。
- (2) 福田教育次長から、安房地区教育委員会連絡協議会研修視察の内容について説明がなされた。
- (3) 福田教育次長から、安房地区教育委員会連絡協議会指定公開研修会について資料をもとに説明があり、教育委員の参加について確認がなされた。
- (4) 福田教育次長から、平成23年度教友会開催計画について資料をもとに説明がなされ、11月17日(木)に長谷川教育長の事業報告、郷土資料館特別企画展「伊八・再発見」展見学の後、懇親会を開催することとなった。
- (5) 福田教育次長から、平成23年度第3回教育委員研修会計画について資料をもとに説明がなされ、保護者代表を迎えて意見交換会を10月20日(火)に実施することとなった。
- (6) 小倉学校給食センター所長から、東日本大震災による福島第一原子力発電所の事故を受けて、学校給食用食材の安全性に対する保護者の不安を解消するため、9月20日分から学校給食用食材の産地の公表を保護者宛文書や市ホームページで開始したことについて、資料をもとに説明がなされた。

- ・村上委員から、産地を公表するに至った経緯に関する質問があり、小倉学校給食センター所長より少数の保護者からの要望があったが、食材に対する保護者の不安を解消するため公表することにしたとの説明がなされた。
 - ・村上委員から、秋刀魚の産地の表示に関する質問があり、小倉学校給食センター所長より今回使用した秋刀魚は宮城沖で獲り、銚子港に水揚げされたものとの説明がなされた。
- (7) 各課長から、資料をもとに10月の行事予定についての説明がなされた。また、滝口学校教育課長から、10月の定例教育委員会会議について説明がなされ、10月20日(火)に開催することになった。

佐久間委員長は、一切の審議の終了を告げ、閉会を宣言した。

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

平成23年10月20日

鴨川市教育委員会 委員長

委員長職務代理者

教育次長

会議録作成者 福田典白